

# 矢口里菜子 & 館野 泉 デュオ・リサイタル



不思議な魅力を湛え、  
聴く人を吃驚させるような仕掛け、  
混沌としたエネルギーが充満している作品の数々。

©平舘平

©Akira Muto

## Rinako Yaguchi & Izumi Tateno Duo Recital

### Program

モーツァルト／光永浩一郎(編曲):「女ほど素敵なものはない」の主題による8つの変奏曲  
Mozart (arranged by Koichiro Mitsunaga): 8 Variations "Ein Weib ist das herrlichste Ding"

ペルト:鏡の中の鏡  
Arvo Pärt: Spiegel im Spiegel

松平頼暁:Incarnation Vcと左手Pfのための ♪  
Yori-Aki MATSUDAIRA: Incarnation

マグヌッソン:チェロ・ソナタ ♪  
Thordur Magnússon: Cello Sonata

coba:Tokyo Cabaret(チェロとピアノのために) ♪  
coba: Tokyo Cabaret

♪ 館野泉に捧げる「館野泉左手の文庫」助成作品

2025.

3月3日(月) 19:00開演  
18:30開場 21:00終演予定  
紀尾井ホール

7:00p.m., Monday, March 3, 2025 at Kioto Hall

S¥5,000 A¥4,000

※料金には消費税が含まれています。  
※特別割引チケットにつきましては裏面をご覧ください。

11月3日(日) 一般発売 | ジャパン・アーツぴあオンラインチケット 11月2日(土) 10:00~

ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212

www.japanarts.co.jp

■チケットぴあ t.pia.jp [Pコード:282-874] ■イープラス eplus.jp

■ローソンチケット l-tike.com [Lコード:35809]

【主催】ジャパン・アーツ 【後援】フィンランド大使館／一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ) 【協力】館野泉ファンクラブ

もう40年近く前に世を去った私の父はチェリストであった。30代初めの頃はウーテルプ・トリオというのを結成して活躍。ヴァイオリニストは小林三吾とって「蟹工船」の作者小林多喜二の弟である。三吾さんは後に私の妹のヴァイオリンの先生として毎週出稽古に来られたので、少年の頃の私にはとても懐かしい人。

父は「音楽家として生きるほど素敵なことはない」と口癖のように言い、「子供ができれば皆音楽家にするんだ」と言っていたそうだ。そして4人の子供たちは皆音楽家になった。でも今の時代のように英才教育をされた訳ではなく、野球や相撲をするのが大好きで蜻蛉や蝉やザリガニを獲ったり、メンコやベイゴマに夢中になって遊んだ普通の子供だった。ピアノやチェロを弾くのも遊びと同じに好きだったから、特に音楽家になったわけではなくて、音楽の道に進むのはごく自然で自明のことであったに過ぎない。弟の英司はいま84歳だが、使用している楽器は父のものである。父は子供好きで分け隔てなくよく遊んでくれたし、親というよりは遊び友達のようなのであったから、自然と一体感が生まれていたのかもしれない。

私が60余年を過ごしたフィンランドはチェロの大国である。今まで何人もの素晴らしいチェリストたちと共演してきたが、中でもエルッキ・ラウティオとは40年近く一緒に演奏してきた。彼の演奏は身体を突き抜けて魂の深奥まで響いてくる。

ここ数年、矢口里菜子さんと演奏を続けている。最初の出会いは吉松隆「KENJI」のトリオ・ヴァージョンを演奏したとき。作品への深く強い没入感と全身を捧げ尽くしたかのような演奏に感銘を受けた。それから平野一郎のピアノ五重奏「鬼の学校」で弾いてもらった。三年前に完成したばかりの現

代作品で、しかも演奏に45分かかかる大作。しかしこれが大好評で札幌から福岡まで分校が出来、16回も全国を演奏して廻った。

今回の公演はすべてチェロと左手ピアノのための作品。モーツァルトが没年に書いた「女ほど素敵なものはない」を光永浩一郎にチェロ作品として編曲してもらった。モーツァルトにはチェロの作品は存在しないから、その意味でも貴重だ。ペルトの作品も不思議な魅力を湛えているし、松平頼暁の「INCARNATION」は2012年に書かれた作品だが、前衛的精密な作品のようでいて悪戯心も旺盛。聴く人を吃驚させるような仕掛けが随所に見られる。

マグヌッソンのチェロ・ソナタは2013年9月に東京文化会館で行われたプリンディス・ギェルファドッティルと私の演奏のために書かれた。cobaの「Tokyo Cabaret(東京キャバレー)」もこの演奏会で初演されている。プリンディスはマグヌッソンの夫人でアイスランド交響楽団の首席奏者。素晴らしいチェリストである。そしてこのソナタは「心を違う世界に運ばれる作品」としか言いようがないが、矢口里菜子さんの演奏にも同様な深さと強さを覚える。深い海のようなのである。

cobaの「Tokyo Cabaret」はハバネラのリズムで書かれた作品だが、私にはむしろ泥臭くて野暮ったい雰囲気でもンムンする曲に思える。様々な汗や欲望が渦巻き、混沌としたエネルギーが充満しているのだ。藝大の学生の頃、御徒町のキャバレーによく行った。お金はなかったけれどお姐さんたちは皆優しく親切で気取りもなかった。矢口さんは私と60歳近くも年齢が離れているがcobaの「Tokyo Cabaret」では実に素敵な演奏をしてくれる。長く生きていて良かったと思うのである。

館野泉先生とは『鬼の学校 左手のピアノと弦楽のための教育的五重奏(作曲:平野一郎氏)』で、ご一緒に全国を回った。公演数は16回にもなるが、幸運にも私は全公演に出演することができた。そんな「鬼の皆勤賞」のご褒美かはわからないが、あるとき先生から新たな課題をいただいた。

モーツァルト『女ほど素敵なものはない』ピアノとチェロのための編曲版である。モーツァルト作品をこの編成で聴けるのは珍しい。ぜひ、アンサンブルの味わいを感じて頂きたいと思う。

coba『Tokyo Cabaret』や、マグヌッソン『チェロ・ソナタ』は、それぞれに強烈な個性があり、演者として毎回違う表情を発見出来て面白い。館野先生が紡ぎ出す魔法のような響きとともに、今回はどのような表現が出来るのか、とても楽しみだ。

矢口里菜子

## 矢口里菜子 Rinako Yaguchi (チェロ, Cello)

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、東京藝術大学音楽学部を経て、ドレスデン音楽大学にて研鑽を積む。第31回霧島国際音楽祭賞。第10回ビバホールチェロコンクール第1位。ソリストとしてザクセン州立警察オーケストラ、山形交響楽団などと共演。小澤征爾音楽塾に参加。BSテレ東「エンター・ザ・ミュージック」にて、ナビゲーターの藤岡幸夫氏プロデュースによる弦楽四重奏団・The 4 Players Tokyoのメンバーとして定期的に出演している。山形交響楽団 首席チェロ奏者。

## 館野 泉 Izumi Tateno (ピアノ, Piano)

88歳クラシック界のレジェンド・ピアニスト。領域に捉われず、分野にこだわらず、常に新鮮な視点で演奏芸術の可能性を広げ不動の地位を築く。2002年に脳溢血で倒れ右半身不随となるも、しなやかにその運命を受けとめ、「左手のピアニスト」として活動を再開。これまで館野泉の左手のために10ヶ国の作曲家により130をこえる作品が献呈されている。2020年演奏生活60周年記念演奏会、2023年米寿記念演奏会の全国ツアーは大反響をよんだ。2025年は、卒寿記念演奏会を全国各地にて予定。

### 次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さいませ

①やむを得ない事情により、出演者・曲目・曲順等が変更になる場合がございます。②公演中止を除き、お買求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。③いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。④演奏中は入場できません。⑤未就学児の同伴はご遠慮ください。また就学児以上のお子様もご入場には1人1枚チケットが必要です。⑥全指定席です。指定の座席にてご鑑賞ください。⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑨他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場頂く場合がございます。

### 特別割引チケット (ジャパン・アーツびのみで受付)

◎学生券(¥3,000)は11月3日(日)10:00より受付を開始します。  
※社会人学生を除く公演当日25歳までの学生が対象です。当日は学生証をご提示の上、ご入場ください。(学生証がない場合、一般価格との差額を頂く場合がございます)  
◎車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。  
必ず事前に御予約ください。(ジャパン・アーツびあコールセンターのみで受付)

X(旧Twitter)でフォローする @japan\_arts